

## 令和7年度事業計画および予算（案）について （令和7年4月1日より令和8年3月31日まで）

### 事業計画 方針

令和6年度の日本経済は、内需は堅調である一方、財輸出の鈍化とサービス輸入の増加により、外需がマイナス寄与となり、GDP（国内総生産）成長率は実質で0・4％程度、名目で2・9％程度と見込まれる。

令和7年度については、内需を中心に底堅い成長が続くと予測される。今年の春闘でも前年並みの5％程度の賃上げ率となり、実質賃金はならしてみれば前年比プラスで推移する見通しとなっている。一方、個人消費は、食料価格高騰の影響などから一時伸び悩むが、実質賃金の回復や先行き賃金の期待改善から、緩やかに持ち直す見通し。さらに企業の設備投資は、デジタル化や脱炭素、サプライチェーン強靱化に向けた取り組みや人手不足対策などを背景に拡大傾向が続くとみられ、GDP成長率は実質で1・2％程度、名目で2・7％程度と見込まれている。

日本経済は、緩やかに持ち直し傾向が続いているが、建築用コンクリートブロック業界を取巻く環境は、住宅着工の減少や人口減少に伴う労働人口の減少が顕著化しており厳しい状況が続いている。

そうした中、JCBAは昨年度、活動の中心である委員会体制の見直しを行なうと共に中長期ビジョンの達成に向けてJCBAパーパスを策定して委員会活動の方向性を明確化した。今年度はJCBAパーパスを軸に中長期ビジョンの達成に向けて、全会員社が一致団結して共存・共栄によるブロック業界の持続的発展を目指していきます。

## 事業計画（案）

### 1. 委員会活動の活性化

各委員会がブロック業界の現状を十分に認識して、活発に活動することでブロック業界全体の活性化と発展に寄与していく。

#### ① 運営委員会

- ・工業会活動の全般について方針の策定、関係諸機関との連携及び協力を図る。

#### ② 製品規格委員会

- ・次回 J I S 改訂に向けた検討。
- ・かぶり厚さについて建築学会と連携しながら検討していく。
- ・製造規格-2023 の販売・周知。
- ・製品規格に関する質問・相談への対応。

#### ③ 施工技術委員会

- ・充填目地工法の仕様書の検討。
- ・充填目地工法に使用するモルタルの実証実験の実施。
- ・工業会推奨施工図集の発刊に向けた検討。

#### ④ 広報・販促委員会

- ・全国の展示会への出展とブースの設営。
- ・ブロック塀が減災・防災に貢献した事例の収集。
- ・Instagram など SNS を活用した情報の発信。

#### ⑤ 人材育成委員会

- ・ブロック建築技能士検定の実施支援。
- ・ブロック技能士会の設立支援及び現状調査。
- ・技能競技トライアルの開催支援。

#### ⑥ ロビー活動推進委員会（新設）

- ・ブロック業振興議員連盟の設立
- ・国交省や厚労省など官庁への折衝・情報交換

## 2. 春・秋の講演会の開催

ブロック業界の啓発・活性化と会員知識の向上を図るため講演会の開催。

## 3. 国内外における研修会の実施

国内外におけるコンクリートブロックの現状を把握し、参加者自身で知識を吸収し、製品開発に役立、各社の事業拡大に貢献するため研修会を実施する。

## 4. プライベートガーデン推進運動の活性化

コンクリートブロックを使用した庭作りの推進を、各種の事業を通じてプライベートガーデンの啓発に取り組む。

## 5. 関係諸機関との提携及び連絡

関係学会・団体等に前年に引続き委員を派遣し、関係機関との連絡、調整に当たります。

- ・(一財) 日本規格協会
- ・(一財) 建材試験センター
- ・(一社) 日本建築学会
- ・(公社) 日本エクステリア建設業協会
- ・中央職業能力開発協会

## 6. 継続事業

- ・機関誌「J C B Aニュース」年4回の発行
- ・パンフレット「あんしんなブロック塀をめざして」の有効活用
- ・ホームページを活用した情報発信